

令和3年(2021年)5月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2021年5月 数量 (トン)	2021年5月 平均単価 (円)	前年同月 比 数量	前年同月 比 平均単価
1	野菜	人参	徳島県産、千葉県産中心の入荷でした。両産地ともに順調な出荷により、入荷量はやや増加しました。単価は前年並みで推移しました。	534	146	103%	99%
2		キャベツ	千葉県(銚子)産、神奈川県産、茨城県産中心の入荷でした。入荷量は前年並みで推移しました。平均単価は大幅に安く推移しました。	1,296	66	102%	49%
3		トマト	西南暖地中心の入荷でした。潤沢な出荷により、入荷量は増加しました。平均単価はやや高く推移しました。	525	275	118%	104%
4		レタス	茨城県産、長野県産中心の入荷でした。全体的に順調な出荷となり、入荷量は増加しました。平均単価は安く推移しました。	429	159	116%	84%
5		馬鈴薯	鹿児島県産中心の入荷でした。長雨の影響により、入荷量は前年並みで推移しました。平均単価はかなり高く推移しました。	300	305	100%	127%
6	果実	その他 柑橘	貯蔵の甘夏やデコポン、河内晩柑の数量が前年より少なく、入荷量は減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	229	299	90%	126%
7		りんご	主力品種のふじに内部褐変の問題もあり、入荷量はかなり減少しました。平均単価はかなり安く推移しました。	146	304	53%	62%
8		メロン	茨城県産、千葉県産中心の入荷でした。春先の好天により、作柄も良く前進出荷となったため、入荷量はかなり増加しました。平均単価は前年並みで推移しました。	341	453	141%	102%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+)0~2%
- ②やや増加(減少):(+)3~10%
- ③増加(減少):(+)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+)51%以上